

ISSJ

第14回 情報システム学会 シンポジウム

2021年5月29日（土）

13:30～16:15

専修大学 神田キャンパス10号館3階

黒門ホールからZoom開催

会員・学生 無料

非会員 ¥1,000-

最新技術による 人間中心の社会システムを目指すためには ～5G・VR・AIの動向を踏まえて～



森川 博之 氏

(東京大学大学院工学系研究科)

第1部 13:35～14:45

研究分野：

モノのインターネット，センサネットワーク，無線通信システム，
情報社会デザイン，情報通信政策

著書：「データ・ドリブン・エコミー」、「5G 次世代移動通信
規格の可能性」



杉本 麻樹 氏

(慶應義塾大学理工学部情報工学科)

第2部 15:00～16:10

研究分野：

ユビキタス光センシング，バーチャルリアリティ・拡張現実感，
人間拡張

著書：「自在化身体論 一超感覚・超身体・変身・分身・合
体が織りなす人類の未来」

一般社団法人 情報システム学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-10-9 九段VIGAS 5階

TEL : 03-45703280 FAX : 02-4570-3293

URL : <https://www.issj.net> E-mail : issj-office@issj.net

第14回

『ニューノーマル時代のデジタル変革への向き合い方』

森川 博之 (東京大学大学院工学系研究科)

COVID-19により社会・世界観の変化が生じつつある中、産業・事業・社会構造までも変革するデジタルシフトが加速しつつある。企業の経営戦略の中にデジタルを取り入れ、新たな価値の創出につなげていかなければいけない。デジタル変革の起点は、身の回りの仕事や生活の中から得られる気づきである。デジタルの土俵に上がり、気づきから未来を創っていかなければいけない。関わる人やモノが増大する特質を有することから、関わる人やモノすべてに共感し、つないで巻き込むカスタマーサクセス人材も事業開発や研究開発において重要となる。「土俵に上がる」「気づきに繋がる多様性」「パイを奪い合うのではなくパイを広げる」などといった視点が大切であることを述べる。

『バーチャル環境を通じた身体自在化の探求』

杉本 麻樹 (慶應義塾大学理工学部情報工学科)

高度に情報化された社会においては、人間自身の在り方や経験情報の蓄積は、実環境における制約を超えて様々に発展していくということが期待されます。本講演では、バーチャルリアリティ技術やAI技術によって、私たち人間の可能性をどのように拡張していくことができるか、また、私たちが拡張した自己をどのように認知するのかについて事例紹介を交えながら概観します。

◆参加申込み◆

会場準備の都合上、**5月20日(木)**までに
事務局 issj-office@issj.net まで、メールでお申込ください。

前日までに、ZoomミーティングIDとパスコードを送ります。

◆記載内容◆

参加者氏名	参加区分	1.正会員	2.学生会員	3.非会員
所属	連絡先	(電話番号、メールアドレス)		

◆非会員の方は**5月26日(水)**までに、**¥1,000-**のお振込をお願いします。 お振込先 (次のいずれかをお願いします)

・三菱UFJ銀行	市ヶ谷支店	普通預金	0087521
・みずほ銀行	九段支店	普通預金	1714392
・ゆうちょ銀行	振替口座	口座番号	00180-7-300365

※口座名義・加入者名 (シヤ) ジョウホウシステムガッカイ